

FREMO

キッチンパネル収納【フリモ】

取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL (087) 825-3632 TEL (087) 806-3660 TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3695 FAX (087) 825-3645 FAX (087) 825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム 中四国営業チーム 九州営業チーム	TEL (087) 825-3623 TEL (087) 825-3624 TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3647 FAX (087) 825-3648 FAX (087) 825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

マークに関する説明事項

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていたくこと」を示します。



警告

家電製品の設置基準を守って設置する。

収納部で使用する家電製品は、各製品の取扱説明書に記載されている設置基準を守って配置してください。設置基準が守られていない場合、熱による変色・変形や発火などが発生するおそれがあります。



注意

本製品は不燃・難燃・防熱・遮熱の仕様ではありませんので、家電製品の取り扱いには充分ご注意ください。



注意



● 製品に乗ったり、ぶら下がったりしない。

棚板や引出し、スライドテーブルなどに乗らないでください。破損・転倒・落下してケガをするおそれがあります。



● 耐荷重の目安を必ず守る。

棚板に過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起こり、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。(「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い

● 家電製品を使用する場合は、**必ずユニット前のアルミ引違戸を開けた状態で使用してください。**● 蒸気のでる家電製品などを使用する際は、**スライドテーブルを必ず引出す。**

蒸気のでる家電製品などを収納したまま使用しないでください。変形・変色の原因になります。



注意

- ガス炊飯器・ガスオーブンレンジ・カセットコンロなどのガス器具や電熱器など、熱源の露出した器具・卓上電磁 (IH) 調理器・キッチンフライヤーは使用できません。
- ホットプレート・魚焼き器・グリル鍋など、調理中に多量の湯気・油煙が発生する器具は使用できません。

● 鍋や食器類などを濡れた状態や熱いまま**で収納しない。**

表面化粧のはがれや反り、変色・変形の原因となります。必ずよく乾燥させてから収納してください。



● 粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

表面に粘着跡が残るおそれがあります。

- 室内環境によっては収納内部が結露する場合がありますので、結露が発生した場合は必ず拭き取りよく乾燥させてください。
- ダストワゴンはプラスチック製のキャスター付きです。床材は耐キャスター性に優れたものをご使用ください。
- 本製品に直接水をかけないようにしてください。湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。こまめにお手入れしてください。
- 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因になります。
- 溶剤・薬品・油・インクなどが付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。
- 扉が傾いたり、ガタついているなど、製品に不備がある場合は、施工業者様へ連絡してください。

コンセントを取り付けた場合

- コンセント付近に水の入ったものを置いたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- コンセントにゴミやホコリが付着しないように、定期的に掃除をしてください。火災・ショート・漏電・感電のおそれがあります。

ステンレス素材について (対象パーツ: 網棚、バスケット)

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷がつきやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま(塗装なし)で使用しますので、清掃の際には、裏面**お手入れ**の内容を守ってご使用ください。
- 濡れた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが発生(もらいサビ)することがあります。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。

お手入れ

- **日常のお手入れ方法** 乾いた柔らかい布で乾拭きする。

- **汚れがひどい場合**

木質	中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。
ステンレス	市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。 ※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。

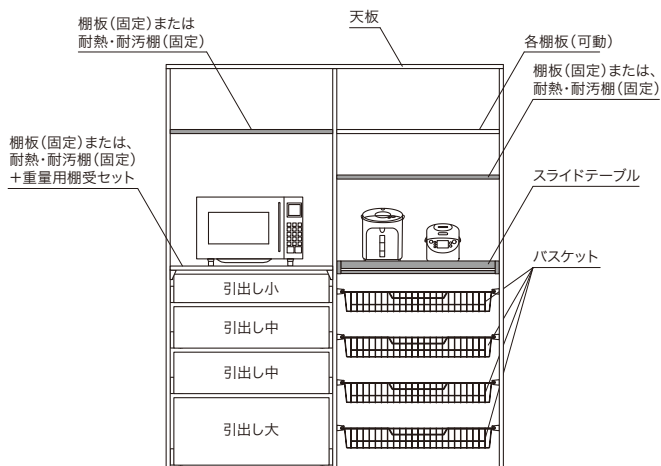
- **換気をする。**

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

- **油やインクに注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

耐荷重の目安値



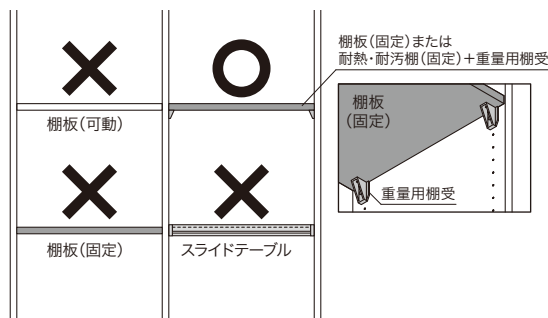
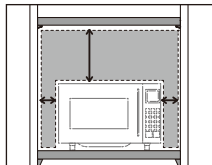
下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値
天板(1300mm 以内)	30kg
棚板(固定)	20kg
棚板(固定)または耐熱・耐汚棚(固定) + 重量用棚受セット	30kg
耐熱・耐汚棚(可動・固定)	450・600・800mm 20kg
網棚(可動・固定)	450・800mm 20kg
棚板(可動)、スライドテーブル	20kg
引出し 小・中(1 段目～3 段目)	引出し1段あたり 10kg
引出し 大(4 段目 = 最下段)	引出し1段あたり 20kg
バスケット	バスケット1段あたり 5kg

電子レンジ・電子オーブンレンジの設置位置について

棚板(固定)または耐熱・耐汚棚(固定) + 重量用棚受セットで使用してください。
スライドテーブルや棚板(可動)に載せての使用はできません。
また、ガスレンジ・ガスオーブンレンジは「フリモ」内部では使用できません。

※離隔距離(右図)は各家電メーカーの設置条件に準じてください。



スライドテーブル上の使用機器について

※下記内容は家電・調理機器をスライドテーブル上で使用する場合の制限であり、保管に関しては問題ありません。

以下をご確認いただき、使用できる機器をお確かめください。

OK スライドテーブル上で使用できる機器

- 電気炊飯器
- ミキサー(フードプロセッサー・ジューサー)
- 電気ポット
- ホットサンド、ワッフルメーカー
- 電気ケトル
- コーヒーメーカー
- トースター・オーブントースター

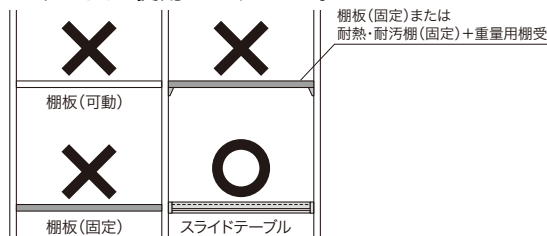
NG スライドテーブル上で使用できない機器

※必ず「フリモ」から取り出してご使用ください。

- ホームベーカリー
- ガス炊飯器
- ホットプレート
- グリル鍋
- IH調理器
- カセットコンロ

・ご使用にあたっては、上記 **ご使用上のお願い** をお守りください。

・上記機器はスライドテーブル上で使用してください。



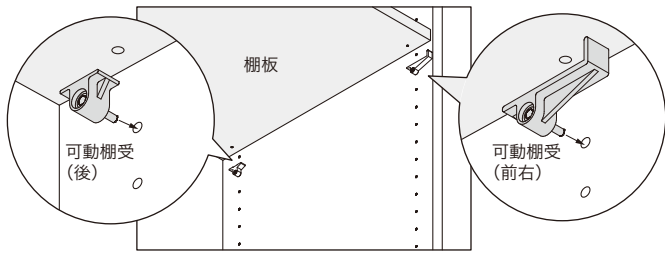
棚板／耐熱・耐汚棚／網棚(可動・固定)の移動・取り付け

棚板／耐熱・耐汚棚／網棚は可動棚受金具にて取り付けしている箇所(可動)と、樹脂金具にて取り付けしている箇所(固定)があります。下記を参照にして移動・取り付けを行なってください。

棚板(可動)の場合

【棚板の取り外し】 可動棚受取付箇所 前後2箇所×左右

棚板を上を持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受金具を取り外してください。



【棚板の取り付け】

【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

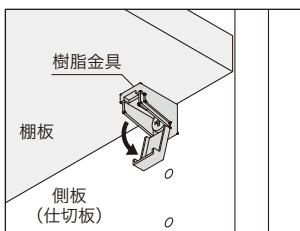
ご注意

- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

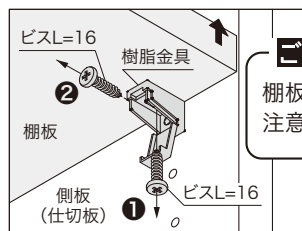
棚板(固定)の場合

【棚板の取り外し】 樹脂金具取付箇所 前後2箇所×左右

①現在取り付けしている棚板下部の樹脂金具のキャップをあげてください。



②バインドビスL=16をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。



ご注意

棚板の落下にご注意ください。

【棚板の取り付け】

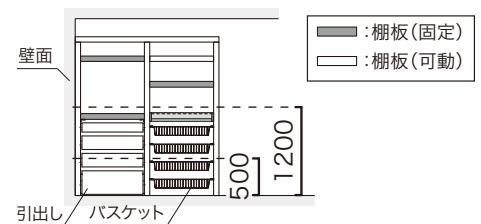
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

ご注意

- 取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

ご注意

- 1列につき必ず1カ所棚板を固定してください。棚板(可動)のみの構成は不可です。高さについては右図を参照してください。(冷蔵庫を設置する場合は除く)
- 設置高は床から棚板上面まで500～1200mmの間です。お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
- バスケットや引出しを取り付ける場合は、それぞれのパーツの上部に必ず棚板(固定)またはスライドテーブルが必要です。



バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。

